

内分泌代謝科後期研修カリキュラム

【一般目標】

地域基幹病院における内分泌代謝診療の一翼を担える医師になるために、
内分泌代謝科医師としての基礎的かつ幅広い臨床能力を習得する。

【行動目標】

1. 専門医として必要とされる診察、検査、診断能力を習得する。
2. 内分泌代謝疾患の救急対応能力を習得する。
3. 内分泌代謝疾患を基礎にもつ患者の全身管理能力を習得する。
4. 患者および患者家族への病状説明を含めた対応能力に習熟する。
5. 内科認定医および内分泌代謝科専門医受験に必要なとされる要件を満たす。
6. 専門医として、研修医、コメディカルを指導する能力を習得する。

【方略】

1. 内分泌代謝疾患の入院患者を主治医として担当する。
2. 内分泌代謝疾患の外来患者を主治医として継続的に担当する。
3. 指導医下に、救急外来を担当し、内分泌代謝疾患の救急対応を経験する。
4. 指導医下に、他科の患者の内分泌代謝疾患の管理を行う。
5. 指導医下に、患者および患者家族への病状説明を行う。
6. 患者および患者家族からの苦情に対応する。
7. 症例検討会、抄読会で、発表、討議する。
8. 学会発表、論文発表を行う。

On the job training を基本とし、研修医、上級医、指導医、コメディカルからなるチーム医療を実践する中で、問題解決能力の向上を図る。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金	土
午前	回診	外来	回診	外来	総回診	回診
午後	糖尿病教室	他科回診	甲状腺エコー	他科回診	甲状腺エコー	
夕刻		抄読会	医局会	症例検討会	救急外来	

※ 内分泌代謝疾患の救急対応は、時間を問わず、指導医とともに対応する。

※ 他科回診は、例えば周術期のインスリン指示などを行う。

【評価方法】

行動目標	評価方法
1、6	定期的に指導医が評価する。
2、3、4	随時、指導医が評価する。
5	研修記録に記載し、指導医が評価する。

【別に定める事項】

内分泌代謝医として習得すべき知識、診察能力、検査手技、治療方法、経験すべき疾患は、内分泌代謝専門医認資格申請に必要な要件を満たすものとする。